

# 豆腐・納豆の適正な価格形成について



新事業・食品産業部

2023年10月

**MAFF**

Ministry of Agriculture,  
Forestry and Fisheries

農林水産省

# 適正な価格形成による持続可能な食料システムの実現



## 【直面する課題】

原材料価格の高騰や急速な円安の進行など、農業・食品産業の事業環境が急激に変化。



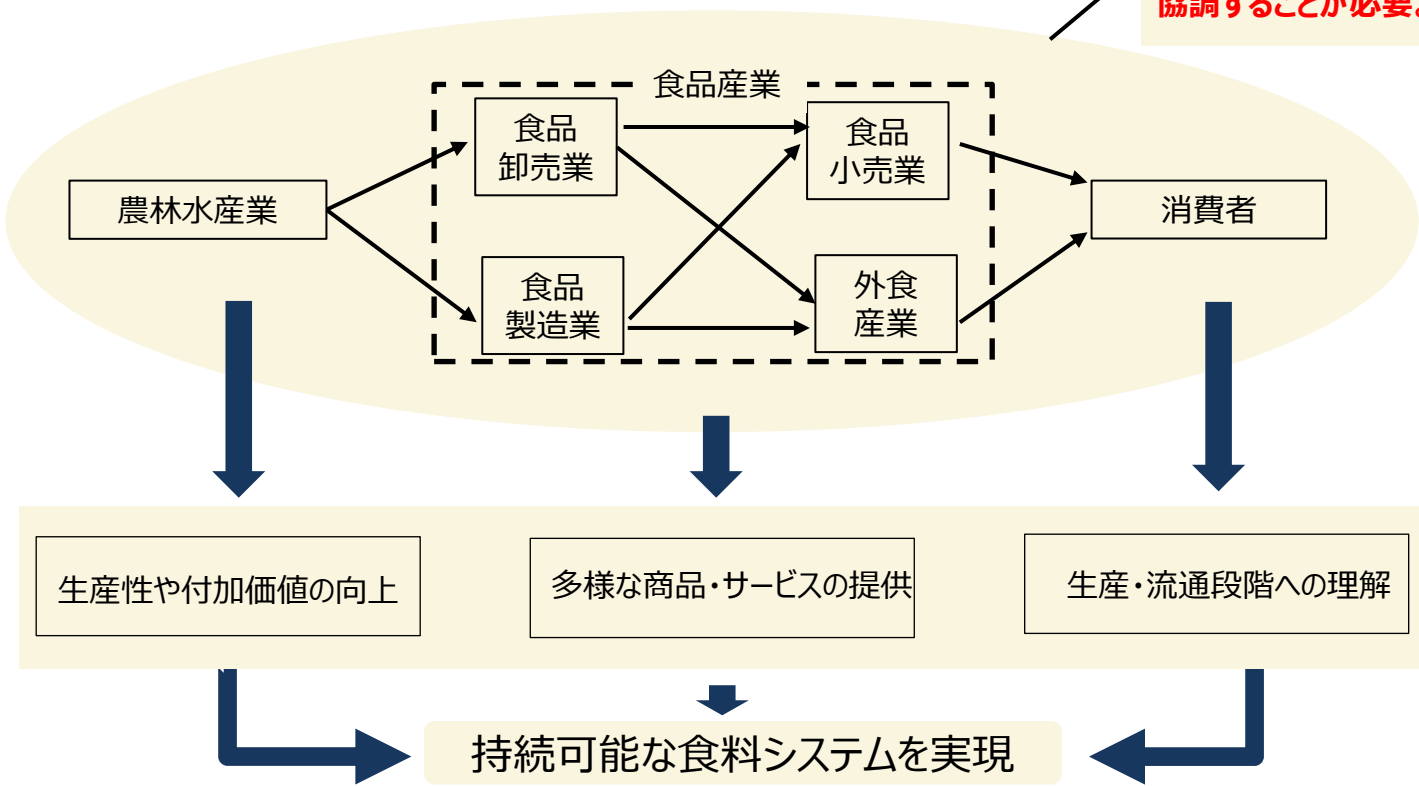
## 【本協議会の目的】

生産から消費までの各段階の関係者が一堂に集まり、適正な価格形成の在り方を協議。



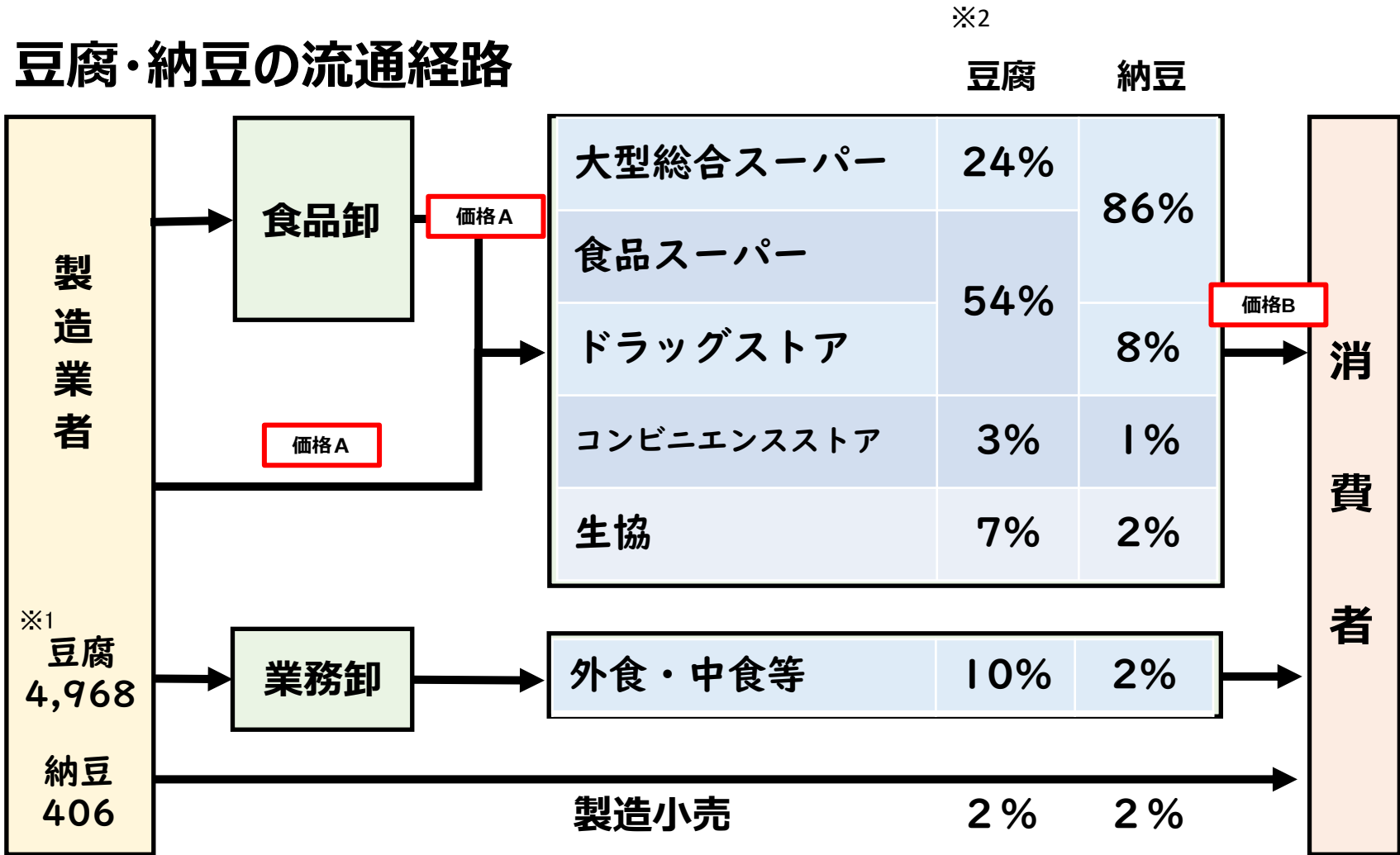
## 【目指すべき食料システムの姿】

消費者の理解の下、  
食料システムの持続性を確保するために、  
協調することが必要。



# 豆腐・納豆（流通経路）

- 流通は、製造→卸売→小売が基本であり、**流通経路はシンプル**。
- 製造業者は多いが、大手製造業者による事業継承の動きもみられる。



※1 製造業者数は、厚生労働省の許可施設数(2021年度)  
※2 業態別販売割合は、日本豆腐協会調べ(2022年度)及び「納豆に関する一般消費者調査」2023年6月全国納豆協同組合連合会調べ



## 価格A（製造業者・食品卸→小売間）について

※まずは製造・卸業者に対し

- 価格の設定は、どのような考え方で行われているのか（需給、品質、原価・物流費等のコストの加味など）。
- 価格の交渉に当たって、コストをどのように説明しているか（示しているコストの種類・示し方など）。
- 現状、（製造業者・卸業者としての）コストについて、どの程度取引価格に反映できているか。反映に当たって課題はあるか、どのような内容か（タイムリーに価格に反映できていない、抱き合わせで販売しているなど）。
- 価格を含めた交渉、契約など、取引実務において課題はあるか、どのような内容か。 等

## 価格B（小売→消費者間）について

※まずは小売関係者に対し

- 小売価格の設定は、どのような考え方で行われているのか（需給、品質、原価・物流費等のコストの加味など）。
- 現状、（小売としての）コストについて、どの程度小売価格に反映できているか。反映に当たって課題はあるか、どのような内容か（タイムリーに価格に反映できていないなど）。
- 小売価格に関し、消費者の理解を得るための方策・工夫として、どのようなことが考えられるか。 等